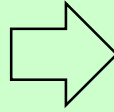


# 大規模水田営農に園芸作物を新規導入 ～農事組合法人 道賀～

## 経営体の概要

法人設立：平成19年  
基幹作物：水稲、大豆  
経営面積：42ha



現在：令和元年  
基幹作物：水稲、大豆、野菜  
経営面積：43ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本法人は、県営ほ場整備事業を契機に農作業受託組織として平成13年に設立した組織が前身で、現組織は水稲・大豆を中心とした経営を行う法人として平成19年に設立している。前歴及び現在実施中の国営かんがい排水事業により農業用水が安定供給され、平成8年度からの関連県営ほ場整備事業による大区画化や農地集積が推進されたことから、大型機械を導入するなど農作業の効率化・低コスト化に取り組んでいる。また、平成26年からは、汎用化された水田において園芸作物にも取り組み、収益力の向上を図っている。

## 営農改善のポイント

### ①栽培技術の確立・向上

農業用水の安定的な確保及びほ場整備を契機とした農地集積、大型機械の導入や農作業の効率化により生じた時間を活用して、新たに平成26年からオータムポエム、平成27年からオクラ及び加工用たまねぎ、平成28年からブロッコリー、平成30年からキャベツを導入している。

ハウスでは水稲育苗終了後、オクラ、オータムポエム、ブロッコリーを組み合わせ年間通した活用に取り組み、水田では、水稲収穫後に園芸作物の加工用たまねぎ、秋ブロッコリー、春ブロッコリー、秋冬キャベツを作付けるため、早生品種を導入するなど、高収益作物を組み合わせた輪作体系を確立している。



オータムポエムの栽培



加工用たまねぎの収穫

### ②単収・品質の向上

たまねぎ、ブロッコリーでは排水対策を徹底している。水田でのたまねぎ単収は概ね5 t程度が一般的であるのに対し、平均8 tと高単収となっている。

## 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
関係市町：新潟市、新発田市及び聖籠町  
受益面積：6,121ha  
事業期間：平成24年～令和5年  
事業目的：用水改良  
主要工事：ダム1箇所、ため池1箇所、頭首工3カ所、用水路L=21.2km、用水管理施設一式

## 位置図（新潟県）



## <問い合わせ先>

北陸農政局  
農村振興部農地整備課  
営農指導係  
電話：076-232-4725

（令和元年度調査時点）